

ような関連性があるのか。全体の中で1校と考えるのか、宇仁小を既存の小学区ではなく、このパイロットスクールに変えようとするのか。

幼・保一元化の方向性と進捗状況について、一転二転している九会幼稚園の進捗状況はどうなっているのか。

**A** 本市の学校設備の整備については、充実した学校教育を実現するために、パイロット的な学校は必要だと考えます。学校は一人ひとりの自己実現、集団との調和等を学ぶ場でもあり、小学校の適正な規模、配置というのを避けて通れないということなのです。耐震化については、耐震補強だけで済む場合、耐震補強に加えて改造をする場合、あるいは改築等が考えられると思います。これを総合的に判断をするということで、整備については国庫補助率のいいときに、一斉一括ご願っています。ただし、1校全部の一斉一括ではなく、統廃合の結果とお考えいただきたいと思えます。

宇仁については、より幅広い目標を持ったパイロットスクール等をつくっていくというふう

に考えます。

九会の幼稚園については、加西中学校の隣地を予定していますが、PFI方式での開設を基本と考えています。



### 企業誘致と労働力の確保と定住促進策について

山下光昭 議員

**Q** 新聞報道によると、三洋電機のハイブリッド自動車のリチウムイオン電池の生産増強にかかわり、生産地の事業所として加西市も候補の一つであった。進出選定基準として必要な労働力の確保ができることが挙げられており、受け入れる側の行政としてどう受けとめられているか、またそれに対してどう対応するべき用意を持っているのか。

若者の定住促進策で、家賃補助も効果は否定しないが、定住という点では不確定な部分があると思う。市内への新規の転入者を対象として新たに住宅を新築、または購入した場合に、固定資産税相当額を奨励金として交付するもの方法ではないか。

**A** 企業誘致に関しては、現在はまだ決定といった段階ではありませんが、今後雇用の確保を初め、国、県、市の様々な優遇制度の適用とあわせ、市を挙げて取り組むべき課題と認識しています。また、候補地の選定基準に、労働力の確保が指摘をされており、できる限りの支援、協力を検討したいと考えています。

定住促進に対する提案は若者定住の促進のための有効な手段と考えています。市も若者を対象とした持ち家推奨制度を9月議会に向けて条例案等を検討しているところです。他市町の事例も参考にしながら補助制度の検討を進めたいと考えています。

### 歳入確保対策と歳出削減について

繁田基 議員

**Q** 歳入確保対策と歳出削減について、今後の予測はどの

ように考えているのか。財政再建のキーポイントとしては、入りと出を制するのが基本だと思つてどうか。

**A** 財政再建について、平成19年度までの前期5カ年の取り組みとしては、職員数の削減を初めとした人件費の抑制及び建設事業に係る一般財源額を8億円以下とする等、投資的経費の抑制を重点的に、計画のローリングの中で毎年度改善項目を追加しながら、取り組んできました。その結果、目標を約20億円上回る約48億円の実効果額を見込んでいます。当初計画策定以降、国の三位一体改革や歳出・歳入一体改革により、歳入面では地方交付税が毎年削減され、歳出面では平成24年度のピークまで下水道事業債の償還が増加し、少子高齢化に対応するため扶助費の増加等も考えられます。今後も引き続き厳しい財政状況が続いていくことが予測されます。

後期5カ年計画では、引き続き職員のコスト意識の醸成を図る中で、常に経費の削減に努め、限られた財源の有効活用を図るとともに、質の高いサービスを

低コストで細部に提供できるよう、引き続き市民のご理解ご協力をいただきながら、職員一丸となって持続可能な財政基盤の確立を目指し、さらなる改革改善への取り組みを強化することを基本として実行したいと思えます。

### 後期高齢者医療制度について

高見忍 議員

**Q** 後期高齢者医療制度については、高齢者の怒りの声が渦巻き、政治不信にまで発展している。怒りや不信の主な原因は何であるとお考えか。怒りや不信を解消する対策は。

兵庫県広域連合議会では、高齢者の怒り、不信、不満に対する議論がなされないのか。

**A** 全国的な高齢者の怒りや不信の主な原因は、制度の説明不足と制度創設時における大量の被保険者証の未着や、保険料の徴収などの不手際が目立ったことなど、この数年間の高齢者の福祉施策に対する後退と相まって、大きな不信になったことは事実であると考えますし、75歳で区切って別立ての保険制度にしたことが、また大きな問